

令和7年度厚木市当初予算 主要事業

「子育て・教育で選ばれるまち」の実現

- 教育ネットワーク運営事業費 <拡大> 321,555千円
- 小学校情報教育機器維持管理事業費 <拡大> 801,781千円
- 中学校情報教育機器維持管理事業費 <拡大> 413,487千円

記者会見

【教育研究所】(1,536,823千円)

GIGAスクール端末の入れ替えを行うとともに、新たに、市立各小・中学校で統一的に利用するA I型デジタルドリル教材を導入し、個別最適化された学びの環境を提供します。また、G I G Aスクール端末を活用した授業を円滑に進めるため、G I G Aステップアップ支援員を増員します。

- ※ A I型デジタルドリル教材導入費用： 12,100千円
- G I G Aスクール端末更改関連費用：1,095,490千円
- G I G Aステップアップ支援員費用： 19,941千円

問合せ先：所長 井上 電話：046-225-2681

- 母子保健衛生事業費 <拡大> (国庫等補助事業)

記者会見

【こども家庭センター】(258,484千円)

- ①「妊娠応援事業助成金」として、不妊治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、医療保険適用の生殖補助医療と併用して実施された先進医療費の一部を助成します。※ 妊婦応援事業費用：10,000千円

- ※ 回数：初めての治療開始時の女性の年齢が40歳未満の場合 通算6回まで
40歳以上43歳未満の場合 通算3回まで
- 補助額：1回の先進医療にかかった費用の10分の7
上限100,000円/1回

★県内トップクラス

- ②妊婦の健康管理の充実と更なる経済的負担の軽減を図り、安心して出産に臨めるようにするため、妊婦健康診査助成事業について、1人当たりの最大補助額を拡大します。※ 妊婦健康診査助成拡大分：34,500千円

- ※ 助成金額：8万円 ⇒ 11万円に拡大

★県内トップクラス

- ③疾病等を早期発見し、乳児の健康の保持増進を図るため、新たに1か月児健康診査の費用を補助するほか、5歳児健康調査のフォローアップ健診を拡大します。

- ※ 1か月児健康診査費用：4,942千円、5歳児健康調査拡大分：949千円

問合せ先：所長 吉富 電話：046-225-2927

- 子育て支援センターリニューアル事業費 <<新規>> 記者会見

【こども家庭センター】（7,000千円）

気軽に子育て相談ができる子育て支援センターについて、子どもたちが冒険・経験・体験ができる全天候型の遊び場としての機能を拡充するため、リニューアルに向けた基本計画を策定します。

問合せ先：子育て支援担当課長 永井 電話：046-225-2409

- (仮称)三田児童館等複合施設整備事業費 <<新規>> 16,496千円
三田放課後児童クラブ施設整備事業費 <<新規>> 15,774千円

記者会見

【青少年課】（16,496千円）

【こども育成課】（15,774千円）

子どもが安心して過ごせる居場所づくりを進めるため、三田小学校の敷地の一部を活用し、児童館と放課後児童クラブの一体的な整備に向けた新築設計等を実施します。

※ 令和9年度供用開始（予定）

問合せ先：青少年課長 杉山 電話：046-225-2579
こども育成課長 高橋 電話：046-225-2253

- 登校支援推進事業費 <拡大> ★県内唯一※政令市除く 記者会見

【青少年教育相談センター】（17,872千円）

不登校児童・生徒が自分に合ったペースで学習や生活ができる校内の居場所として「校内教育支援センター フリールーム」の取組を推進します。

※ 中学校モデル校：2校 ⇒ 4校に拡大

問合せ先：所長 鈴木 電話：046-225-2526

- 日本語指導プレクラス運営事業費 <<新規>> ★県内初 記者会見

【教育指導課】（2,204千円）

日本語が全く分からない状態で編・転入する児童・生徒に対し「日本語指導プレクラス」を設置し、学校生活への早期適応と生活に必要な日本語の習得を図ります。

問合せ先：課長 倉持 電話：046-225-2666

• 母子支援事業費 <拡大> (国庫等補助事業)

【こども家庭センター】(70,860千円)

母子に対する心身のケアや育児のサポートなど、産後も安心して子育てができる支援体制を強化するため、訪問型産後ケア事業の利用回数を拡大します。

※ 利用回数：1人2回 ⇒ 7回に拡大(訪問日時も柔軟に対応)

【拡大分費用：1,271千円】

問合せ先：所長 吉富 電話：046-225-2927

• 幼稚園教諭等雇用サポート事業補助金 <拡大>

【こども育成課】(28,950千円)

幼児教育・保育に携わる人材の確保、定着及び離職防止を図るため、市内幼稚園設置者に対し交付している幼稚園教諭等雇用サポート事業補助金について、更なる事業効果の向上を目指し、幼稚園教諭等への支給を目的とした就労手当を新たに追加します。

※ 就労手当：勤続年数5年未満の幼稚園教諭等 1人当たり年額15万円

【拡大分費用：15,000千円】

問合せ先：課長 高橋 電話：046-225-2253

• 地域子育て相談機関事業費 <<新規>> (国庫等補助事業)

【こども家庭センター】(5,319千円)

身近で気軽な子育て支援の場を提供するため、地域にある児童館に相談機関を設置し、保育士等による相談や情報提供、助言・支援のほか、講座やイベントを実施します。

問合せ先：子育て支援担当課長 永井 電話：046-225-2409

- | | |
|------------------------------|-----------|
| • 民間保育所運営費補助金 <拡大> (国庫等補助事業) | 656,575千円 |
| 地域型保育施設運営費補助金 <拡大> (国庫等補助事業) | 66,503千円 |
| 幼児教育支援事業補助金 <拡大> | 102,080千円 |

【保育課】(723,078千円)

【こども育成課】(102,080千円)

保護者の皆様の負担軽減のため、保育所等で実施する「手ぶらで保育」を支援します。

※ おむつの保管庫購入補助、折り畳みヘルメット購入補助等

【拡大分費用：23,297千円】

問合せ先：保育課長 松本 電話：046-225-2235
こども育成課長 高橋 電話：046-225-2253

・ こどもフェスタ開催事業費 <<新規>>

記者会見

【青少年課】(5,500千円)

市制70周年を記念し、次代を担う子どもたちに夢を与え、心豊かな青少年の育成と、楽しみながら学ぶだけでなく、本市の魅力を感じ、愛着と誇りを深めることができるイベントとして、こどもフェスタを開催します。

※ 開催予定日：令和7年7月6日（日）

会 場：荻野運動公園

問合せ先：課長 杉山 電話：046-225-2579

・ 校舎等整備事業費（小学校） <拡大>

【学校施設課】(1,389,644千円)

老朽化が進んだ依知南小学校中央棟校舎及び西棟校舎並びに緑ヶ丘小学校東棟校舎及び西棟校舎の建て替え整備に係る詳細設計、既存校舎解体工事等を実施します。

また、北小学校南棟校舎の建て替え整備に係る詳細設計を進めます。

※ 依知南小学校施設整備事業費	222,285千円（仮設校舎等）
依知南小学校施設整備事業費（継続費）	531,965千円（既存校舎解体工事等）
緑ヶ丘小学校施設整備事業費	212,521千円（仮設校舎等）
緑ヶ丘小学校施設整備事業費（継続費）	323,899千円（既存校舎解体工事等）
北小学校施設整備事業費	98,974千円（仮設校舎、詳細設計等）

※ 依知南小学校：令和9年度供用開始（予定）

緑ヶ丘小学校：令和10年度供用開始（予定）

北小学校：令和11年度供用開始（予定）

問合せ先：学校施設整備担当課長 中丸 電話：046-225-2547

・ 小中学校学校施設最適化推進事業費 <拡大>

【学校施設課】(29,006千円)

校舎及び体育館の建て替え整備事業の平準化を図り、継続的に事業を推進していくため、学校施設の耐用年数評価を行います。

※ 目標耐用年数60年の施設のうち、小学校6校7棟、中学校4校6棟

問合せ先：学校施設整備担当課長 中丸 電話：046-225-2547

「福祉の充実」による住みやすいまちの実現

- ・ 障害者意思疎通支援事業費 <拡大> (国庫等補助事業) 記者会見

【障がい福祉課】(9,128千円)

視覚障がい者の外出等を支援するため、スマートフォンを活用し、サポートセンターのオペレーターから視覚情報を音声情報として提供する遠隔サポートシステムを導入し、社会参加の促進や生活の質の向上を図ります。

※ 視覚障がい者遠隔サポートシステム利用料：528千円

★県内初※全国3例目

問合せ先：課長 八木 電話：046-225-2246

- ・ 成人歯科健康診査事業費 <拡大> 記者会見

【健康医療課】(60,812千円)

加齢に伴う口腔機能低下の早期発見、早期治療により歯と口腔の健康について、一層の充実を図るため、65歳、70歳及び75歳以上を対象とするオーラルフレイル健診を新たに実施します。

※ 自己負担額：1,500円、70歳及び75歳以上は無料

【拡大分費用：19,955千円】

問合せ先：課長 井上 電話：046-225-2157

- ・ 成人保健予防接種事業費 <継続> 記者会見

【健康医療課】(548,199千円)

免疫低下で発症する带状疱疹の予防に向け、65歳から5歳刻みの年齢の方を対象に、令和7年度から公費負担による定期接種化が予定されているところ、この対象にならない50歳以上の方の任意接種に対しても、費用の一部を助成します。

問合せ先：課長 井上 電話：046-225-2157

- ・ 平和都市推進事業費 <拡大> 記者会見

【地域包括ケア推進課】(3,591千円)

戦後・被ばく80年という節目の年を迎え、平和のための展示会などを開催するほか、平和の大切さを心に刻む機会となるよう、市内の子どもたちが広島県を訪問して平和学習を行います。

※ 平和学習関連費用：2,818千円

問合せ先：課長 守屋 電話：046-225-2206

• 高齢者外出支援事業費 <拡大>

【福祉総合支援課】（191,066千円）

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる地域包括ケア社会を目指し、より多くの高齢者の積極的な外出を支援し、社会参加や生きがいづくりの推進を図ります。

※ かなちゃん手形助成

対象：令和7年1月1日現在、市内在住で年度内70歳以上の方
助成額：1年券7,800円（自己負担3,000円）

※ 高齢者タクシー利用助成

対象：令和7年1月1日現在、市内在住で、
①年度内70歳以上で自動車運転免許を有しない方
②要介護3・4・5の方
助成額：19,200円（400円×48枚）

問合せ先：課長 梅落 電話：046-225-2068

• 生活支援体制整備事業費 <拡大> （国庫等補助事業）

【地域包括ケア推進課】（1,988千円）

住民主体で地域の実情に合わせて課題解決に向けて対応するため、介護予防に資する通いの場の開設に対し支援を行い、地域包括ケア社会の実現に向けた取組を進めます。

※ 介護予防に資する通いの場創設事業補助金：1,000千円

問合せ先：課長 守屋 電話：046-225-2206

• 家族等支援事業費 <拡大>

【福祉総合支援課】（6,668千円）

二次元バーコードを活用した見守りステッカーを導入し、高齢者が行方不明になった場合の迅速かつ安全な保護を図ります。

問合せ先：課長 梅落 電話：046-225-2068

「生まれ変わる中心市街地」の実現

- 本厚木駅北口周辺整備事業費 <拡大> (国庫補助事業) 記者会見

【市街地整備課】(61,300千円)

市民の誇りとなる玄関口を目指し、多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実した駅前広場など、一体的かつデザイン・機能性に優れた街並みの実現に向けて事業を推進します。

問合せ先：課長 山口 電話：046-225-2852

- 本庁舎敷地跡地利用推進事業費 <拡大> (国庫補助事業) 記者会見

【行政経営課】(21,214千円)

現市役所本庁舎敷地の跡地活用について、新たな附属機関の設置や、プロスポーツチームを始めとする団体ヒアリング等の需要調査など、様々な関係者からの多目的アリーナに関する多様な意見を聞き、基本計画の策定に向けた取組を進めます。

※ 債務負担行為の設定

- 本庁舎敷地跡地等活用基本計画策定業務委託
限度額25,700千円(令和8年度)

問合せ先：課長 成田 電話：046-225-2286

- 中町第2-2地区周辺整備事業費 <継続> (国庫補助事業)

【市街地整備課】(6,589,994千円)

生まれ変わる中心市街地の先導役として、厚木バスセンター東側区域における図書館、(仮称)未来館、市庁舎、消防本部、国県の行政機関等で構成される複合施設の整備に向け、本体建設工事を継続するとともに、円滑な移転に向けた計画策定を進めます。

- ※ 中町第2-2地区周辺整備事業費 44,132千円
- 複合施設建設事業費(継続費) 6,526,699千円
- 複合施設周辺整備事業費(継続費) 19,163千円

問合せ先：複合施設建設担当課長 大森 電話：046-225-2854

・ 中心市街地商店街空き店舗対策事業補助金 <拡大>

【商業観光課】（18,011千円）

商業地域を中心とするエリアの空き店舗に出店する事業者に対し、改装費、家賃の一部及び出店に関わる費用を補助します。これまで本厚木駅周辺に限っていた対象エリアを愛甲石田駅周辺にまで拡大し、活気やにぎわいにあふれる中心市街地づくりを進めます。

問合せ先：課長 熊坂 電話：046-225-2841

・ まちなか活性化事業補助金 <拡大>

【商業観光課】（3,500千円）

市街地のにぎわい創出を図るために、市制70周年を記念して、市内の大学生が組織するあつぎにぎわいアドベンチャー隊とともに、あつぎ国際大道芸の開催に併せて、ダンスのイベントやワークショップを実施します。

問合せ先：課長 熊坂 電話：046-225-2841

持続可能な「あつぎの農業」の実現

・ 国際園芸博覧会出展事業費 <<新規>>

【農業政策課】（1,000千円）

横浜市の旧上瀬谷通信施設で開催される国際園芸博覧会GREEN×EXPO2027に出展するため、庭園や花き園芸植物、フラワーアレンジメント、花壇の作成など、本市農業の魅力を発信するための基本構想を策定します。

問合せ先：課長 和田 電話：046-225-2806

「スポーツ・文化芸術・歴史の聖地」の実現

・ 無形民俗文化財総合調査事業費 <<新規>>

記者会見

【文化魅力創造課】（273千円）

地域に根付いた文化芸術を次世代に絶やすことなく引き継ぐよう国指定無形民俗文化財である相模人形芝居の詳細な記録を後世に残すため、厚木市、平塚市、小田原市、南足柄市の4市合同で、総合的な調査に取り組みます。

問合せ先：課長 能條 電話：046-225-2061

• **あつぎ郷土博物館特別展示事業費 <拡大>** 記者会見

【文化魅力創造課】(25,233千円)

市制70周年を記念して、特別展「寿 - 毛利家と共に - 」(1月~3月)を始め、「いとまんの文化と自然」(7月~9月)、企画展「記録されたあつぎの災害 - 地震・神鳴り・禍事・やまひ - 」(10月~12月)を開催します。

問合せ先：課長 能條 電話：046-225-2061

• **あつぎミュージックフェスティバル開催事業補助金 <拡大>** 記者会見

【文化魅力創造課】(9,850千円)

市制70周年を記念して、厚木中央公園を会場とし、新人シンガー発掘オーディション大賞受賞者と有名アーティストが競演するコンサートを開催します。

問合せ先：課長 能條 電話：046-225-2061

• **運動公園長寿命化事業費 <拡大>**

【公園緑地課】(202,775千円)

荻野運動公園体育館棟は竣工から30年以上が経過しており、また、災害時の物資搬入拠点及び地域住民避難所に位置付けられていることから、引き続き安心安全に利用し続けるため、サブアリーナ(令和7年度)及びメインアリーナ(令和8年度予定)の天井改修工事等を行います。

問合せ先：課長 栗田 電話：046-225-2415

「強い財政力」をいかしたまちの実現

• **土地区画整理推進事業費 <継続>**

【区画整理課】(37,650千円)

計画的かつ充実した都市基盤を形成するため、山際北部地区、山際地区、長谷南部地区及び一般保留設定予定地に位置付けた地区を対象に、土地区画整理事業の具体化を目指す地権者組織への必要な支援を行います。

※ 土地区画整理推進事業費	7,000千円
山際土地区画整理推進事業費	12,150千円
山際北部土地区画整理推進事業費	5,500千円
長谷南部土地区画整理推進事業費	13,000千円

問合せ先：課長 深澤 電話：046-225-2770

・ 中小企業設備投資促進事業補助金 <拡大>

【産業振興課】(20,000千円)

市内で製造業を営む中小企業等の生産性を高めるための設備投資を促進するため、導入に掛かった経費に対する補助率を大幅に拡大します。

※ 補助率：中小企業 : 5/100 ⇒ 1/2に拡大

小規模企業 : 7/100 ⇒ 2/3に拡大

【拡大分費用：10,000千円】

問合せ先：課長 北嶋 電話：046-225-2807

時代と市民に寄り添う「行政運営」の実現

・ 自治会支援事業費 <新規>

【記者会見】

【市民協働推進課】(13,119千円)

回覧板の電子化による負担軽減やDXの推進により、高齢化や共働き世帯の増加といった社会構造の変化に対応した自治会活動の支援をするほか、地域コミュニティの核となる自治会活動の必要性を幅広く周知するパンフレットの配布を行います。

問合せ先：課長 長塩 電話：046-225-2106

「道路交通の円滑化」の実現

・ 交通混雑対策推進事業費 <新規>

【記者会見】

【交通混雑対策課】(23,000千円)

厚木秦野道路のストック効果を最大限に発揮する、将来の道路ネットワークにおける整備効果を検証するとともに、渋滞緩和に効果的な道路整備を推進します。

問合せ先：課長 宮内 電話：046-225-2318

・ 尼寺原幹線街路整備事業費 <新規>

13,000千円

船子飯山線街路整備事業費 <新規>

28,000千円

【記者会見】

【交通混雑対策課】(41,000千円)

厚木秦野道路(仮称)森の里インターチェンジとのアクセス道路の整備を進め、体系的な交通ネットワーク構築を図ります。

問合せ先：課長 宮内 電話：046-225-2318

• 道路交通環境整備事業費 <<新規>>

記者会見

【交通混雑対策課】（107,000千円）

高齢者や障がい者等、誰もが安全で円滑に利用ができるよう歩道に休憩スペースとしてベンチを設置するほか、防災・減災対策として、交通動線を確保する無電柱化の整備を進め、道路交通環境の向上を図ります。

問合せ先：課長 宮内 電話：046-225-2318

• モビリティサービス共創事業費 <<新規>>

記者会見

【都市計画課】（5,000千円）

日産自動車や交通事業者等と共創・協働し、将来のモビリティサービスの在り方等について共同研究を行い、誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる人にやさしい都市の実現を推進します。

問合せ先：交通政策担当課長 大貫 電話：046-225-2407

「災害から命と暮らしを守り抜く」まちの実現

• 公民館熱中症対策空調設備整備事業費 <<新規>>

記者会見

【市民協働推進課】（35,165千円）

公民館ロビーに冷房設備や遮熱フィルムを設置し、夏に公民館に来館される方の熱中症のリスクを軽減し快適に過ごせる環境を整備します。

問合せ先：課長 長塩 電話：046-225-2106

• 防災アドバイザー養成事業費 <<新規>>

記者会見

【危機管理課】（3,190千円）

防災士の資格取得を希望する方向けに防災士取得講座を開催し、防災士資格を取得してもらうことで、地域で活動する防災アドバイザーを養成します。

問合せ先：課長 野口 電話：046-225-2196

• 通信指令関係事業費 <拡大>

記者会見

【指令課】(64,850千円)

119番通報時に通報現場の状況をリアルタイムで映像伝送を行うシステムを新たに導入することにより、救命率の向上はもとより、多様化する災害に対する対応力の強化を図ります。

※ 119番映像通報システム導入費用：2,373千円

問合せ先：課長 野崎 電話：046-221-2331

• 防災井戸等導入検討事業費 <<新規>>

記者会見

【危機管理課】(3,000千円)

指定避難場所である市内小・中学校に、生活用水を確保するための防災井戸及び災害用水洗式マンホールトイレを設置するため、水源調査等を実施し、井戸の深さや掘削方法、災害用水洗式トイレシステム等の検討を行います。

問合せ先：課長 野口 電話：046-225-2196

• 木造住宅耐震改修促進事業費補助金 <拡大> (国庫等補助事業)

【建築指導課】(14,922千円)

旧耐震基準の木造住宅について、新たに除却工事への補助を追加するとともに、耐震診断費、耐震改修設計費及び耐震改修工事監理費の補助額を増額することで、災害に強いまちづくりの実現を図ります。

※ 除却工事補助額：除却工事費の1/2、上限500千円

問合せ先：課長 伊崎 電話：046-225-2436

• 防災行政無線更新整備事業費 <<新規>>

【危機管理課】(31,042千円)

防災行政無線について、電波方式の変更や老朽化している放送設備を更新することにより、災害時の避難情報の伝達など、情報伝達手段の強化を図ります。

問合せ先：課長 野口 電話：046-225-2196

• 高機能消防指令センター整備事業費 <<新規>>

【指令課】（16,197千円）

市役所新庁舎への移転を見据え、消防・防災における総合力の強化を図るため、高機能消防指令センターの整備に向けた設計委託を行います。

※ 令和9年度運用開始（予定）

問合せ先：課長 野崎 電話：046-221-2331

• 厚木消防署本署庁舎整備検討事業費 <拡大>

【消防総務課】（5,651千円）

厚木消防署本署庁舎について、老朽化や車庫の狭隘化など機能面に課題があることから、新たな消防・防災の拠点施設として機能を確保するため、建て替えに向け、庁舎敷地測量等を実施します。

問合せ先：課長 八重樫 電話：046-223-9366

「安心して暮らせる防犯のまち」の実現

• 見守りシステム整備事業費 <拡大>

【くらし交通安全課】（41,832千円）

犯罪を抑止するとともに、犯罪発生時には犯人の特定や早期検挙につながる役割を果たす見守りシステム（防犯カメラ）について、市民の皆様、特に児童・生徒を街頭犯罪や不審者から守るため、市内都市公園84箇所に防犯カメラを設置し、地域の防犯力を強化します。

問合せ先：課長 松永 電話：046-225-2867

• 犯罪被害者等支援事業 <<新規>>

【くらし交通安全課】（4,752千円）

社会全体で犯罪被害者等を支える地域社会づくりを進めるため、犯罪被害者等支援条例を制定し、支援に係る施策を総合的に推進します。

問合せ先：課長 松永 電話：046-225-2867

その他

市制70周年記念事業費 <拡大>

記者会見

【企画政策課】(45,976千円)

市制70周年を市民の皆様とお祝いをし、より一層、あつぎ愛とあつぎプライドを深めるため、歴史・文化・スポーツなど様々な分野で記念事業を行います。

※ 市制70周年記念事業費	35,976千円
市制70周年記念事業費補助金	10,000千円

問合せ先：課長 占部 電話：046-225-2456

あつぎ鮎まつり開催事業費 <拡大>

【商業観光課】(100,000千円)

本市最大のイベントである「あつぎ鮎まつり」を開催し、市内外からの来場者に本市の魅力や伝統、文化を伝えるとともに、市制70周年を記念した花火を盛大に打ち上げ、多くの人々に思い出として残るような感動を届けます。

問合せ先：課長 熊坂 電話：046-225-2841

環境フェア開催事業費 <拡大>

【環境政策課】(5,390千円)

「環境に優しく、自然と共生するまち」の実現に向けて、市民、環境保全等活動団体、事業者等と連携し、「あつぎ環境フェア」を開催します。(隔年開催)

また、市制70周年記念事業として、市内の希少な生き物のミニチュアフィギュアを作成し、カプセルトイとして販売します。

問合せ先：課長 向山 電話：046-225-2756

(仮称) 北部地区公園整備事業費 <拡大>

【公園緑地課】(46,580千円)

今後想定される大規模災害に備えるため、平常時には市民のコミュニティや憩いの場を提供し、災害時には防災の拠点等としての機能を担う、(仮称) 北部地区公園の整備に向け、基本設計や井戸設置委託を行います。

問合せ先：課長 栗田 電話：046-225-2415

・ インバウンド推進事業費 <拡大>

【商業観光課】（1,200千円）

外国人旅行客の趣味嗜好に合わせた観光ツアーを商品化し、観光資源の体験機会を創出することで、本市のインバウンド観光需要の向上を推進します。

問合せ先：課長 熊坂 電話：046-225-2841

・ 図書館整備事業費 <拡大>

【中央図書館】（8,184千円）

複合施設内に、市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点となる新図書館を整備するに当たり、書架等家具調達業務委託に係る事業者の選定を行います。

※ 債務負担行為の設定

- ・ 厚木市複合施設図書館書架等調達業務委託
限度額537,361千円（令和8年度～令和9年度）

問合せ先：館長 小林 電話：046-223-0033

・ 公共施設最適化基本計画改定事業費 <<新規>>

【行政経営課】（15,000千円）

公共施設最適化基本計画の策定から10年を迎えることに伴い、これまで培ってきた公共施設最適化の目的を踏まえつつ、まちづくりの新たな局面に適切に対応するため、計画の改定を行います。

※ 債務負担行為の設定

- ・ 公共施設最適化基本計画等改定業務委託
限度額13,100千円（令和8年度）

問合せ先：課長 成田 電話：046-225-2286

・ 学校施設包括管理推進事業費 <<新規>>

【行政経営課】（15千円）

市立小・中学校36校における学校施設の維持管理業務について、統一的な方針に基づく質の高い適切な維持管理保全を実現するため、包括管理業務委託の導入に向けた取組を推進します。

※ 債務負担行為の設定

- ・ 学校施設等包括管理業務委託導入支援業務委託
限度額13,200千円（令和8年度）

問合せ先：課長 成田 電話：046-225-2286